

アンモニア燃料船への燃料補給(バンカリング)ガイドラインについて

概要

- アンモニアは海運のカーボンニュートラル実現に向けた代替燃料の一つとして期待されており、グリーンイノベーション（GI）基金によるアンモニア燃料船の建造が進行中
- 国内でのアンモニアバンカリングを実施できるよう、令和5～6年度に開催した「アンモニア燃料船への安全かつ円滑なバンカリングの実施に向けた検討委員会」において、設備や事故防止対策等を検討し、ガイドラインとして策定

アンモニア燃料船への安全かつ円滑なバンカリングの実施に向けた検討委員会

<委員長>

高崎 講二 九州大学名誉教授

<委員>

海上保安大学校
海上技術安全研究所
産業技術総合研究所
日本海難防止協会
日本海事協会
日本船舶技術研究協会
海上災害防止センター
日本船主協会
日本内航海運組合総連合会
日本造船工業会
日本中小型造船工業会
日本舶用工業会

<関係省庁>

経済産業省産業保安グループ
国土交通省海事局
国土交通省港湾局
海上保安庁警備救難部
海上保安庁交通部

主な内容

- 緊急離脱システムやアンモニアガス検知器等のアンモニア燃料船及びアンモニアバンカー船に求める設備
- アンモニアバンカリング時の事故防止対策（乗組員及び作業員の立ち入り禁止場所の設定等）
- 乗組員及び作業員のための対策（事前の安全教育の受講・訓練の実施、事故発生時の対応方法等）

燃料船及びバンカー船に求める設備の例



緊急離脱システム



アンモニアガス検知器

乗組員及び作業員が実施すべき事項の例



マニュアルへの精通